

ゆるりゆるり チョコレート健康教室

チョココの原料「カカオ」とはどんな植物？
初めて見る大きなカカオの“実と豆”に驚き！



特別養護老人ホーム ゆうるりでは、今年3月から入居者や職員が、高力カオチョコレートを購入して、健康保持に取り組んでいます。

チョコレート健康効果に関する知識を入居者や家族、職員だけでなく、子どもたち



▲カカオ・チョコ健康教室（10月5日・ゆるり）

にも知っていた。たくさんため、栗原クリニック東京・日本橋院長の栗原毅氏と同

歯科医師の栗原丈徳氏、日本でチョコレートを生産

している株式会社「カカオ・チョコレート健康教室」がゆるりで行われました。

教室では、高力カオチョコレートがもたらす健康効果についての講演のほか、

株式会社「カカオ・チョコレート健康教室」の社員がチョコレート原料となる赤道付近で生産される植物「カカオ」を持参して、本物のカカオの実や豆の焙煎をするなど、カカオからチョコレートができるまでを参加者の目の前で実演しました。



▲カカオからチョコレートができるまでを実演

初めて見る大きな新鮮のカカオの実や豆、そこからできるチョコレートに、参加した入居者やその家族、小学生などからは驚きの声や歓声が上がると、日常何気なく食べているチョコレートについて学ぶ貴重な一日でした。

サイエンスカーで科学を体験！ 「移動理科教室」

北海道立教育研究所が主催する『移動理科教室』が10月8日、美国小学校で行われ、町内の3年生から6年生42人が科学設備展示自動車（サイエンスカー）を活用した理科の観察、実験学習を行いました。

サイエンスカーでは、手回し発電機でエネルギーを発電させる体験やプラネタリウムで星について学習するなど、さまざまな搭載機器を体験しました。

その他にも、火山や津波などの自然災害のしくみを映像で視聴したり、紙コップを使用して音の聞こえ方や性質などを学習しました。

児童たちは、普段の理科の授業では体験できないさまざまな機器に歓声をあげながら、楽しそうに授業を受けていました。



危険物の安全を確認!

北後志消防組合積丹支署(俵谷支署長・署員18名)は、9月30日、町内にある危険物施設の立入検査を行いました。

「危険物」とは、火災の発生・拡大の危険性が高く、消火が困難なものを言い、私たちの身近なものでは、ガソリンや灯油などで、その「危険物」を一定量以上の製造・貯蔵・

多くは、「誤使用・不注意」が原因です。使用前に暖房器具の周りに物が無いのか、外出する前に火元を確認するようにしましょう。

秋は乾燥しやすく、火災が発生しやすい季節です。気温が下がり、どこか家庭でも暖房器具を準備していると思います。暖房器具の火災発生の



▲危険物の立入検査

多くは、「誤使用・不注意」が原因です。使用前に暖房器具の周りに物が無いのか、外出する前に火元を確認するようにしましょう。

災害発生時の避難行動等を学ぶ

9月26日、日司小学校で防災教室を行いました。

教室では、地震や台風が発生した時の被害状況や緊急地震速報の仕組みを学び、実際に学校内にいる時に災害が発生した場合の避難行動や避難する際に「どこに・どんな」危険があるのかを話し合いました。

災害は、いつ、どこで発生するのかわかりません。みなさんも職場や家で災害が発生した時に落ち着いて行動できるように「どこに・どんな」危険があるのか考えてみましょう。



▲防災教室(日司小学校)

姉妹都市交流

第38回刃物まつりへ参加

積丹町地域間交流推進協議会(会長:鎌田淳史町自治会等連合会長)や山本議長などの訪問団11名が、姉妹都市高知県香美市で10月19日・20日の2日間開催された「第38回刃物まつり」に参加し、「積丹町北海物産市場」を出店。積丹町産農産物や珍味、ザンギのほか、今回初めてフライドポテトの販売を行い、積丹町のPR活動をしました。

22回目となる今回のPRブースの出店では、土佐山田婦人会や香美市職員の皆さんの協力をいただき、用意した商品は全て完売する盛況でした。

恒例のYOSAKOIソーラン祭りへの合同チームでの参加や、相互のイベントへの訪問、この冬には積丹町児童による香美市への訪問も予定されており、28年を数える北と南の交流がこれからも続きます。

